

様式第2号（第8条関係）

会 議 録

- 1 会議の名称 第2回学校施設利活用検討委員会
- 2 会議日時 令和5年5月31日(水) 午後3時～午後4時45分
- 3 開催場所 川根本町役場本庁舎3階大会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委 員 鈴木淳二委員長、森下洋一委員、川口舞子委員、山田典秀委員、植田直美委員、板谷康平委員、西原睦実委員、森下正章委員、澤西省司委員、佐々木直也委員、波多野陽介委員、鈴木康司委員
(欠席：芹澤慎一郎委員)
 - (2) 執行機関 事務局 総務課長 山田貴之、
財務管理室 室長 高村康弘、主幹 久保圭弘
 - (3) そ の 他 傍聴人 なし
- 5 議題
 - (1) 開会
 - (2) 検討委員会スケジュールの確認
 - (3) 素案の整理（方向性の検討）について
- 6 会議資料の名称
 - ・次第
 - ・資料1 検討スケジュール
 - ・資料2 利活用の素案（方向性の検討）
 - ・資料3 学校施設のアセスメント評価（山田委員作成）
- 7 発言の内容（要旨抜粋）

事務局

- (1) 開 会
- (2) 検討委員会スケジュールの確認
＝事務局よりスケジュールについて説明＝

質疑なし

(3) 素案の整理（方向性の検討）について

＝事務局より素案について説明＝

委員長 事務局から説明がありましたが、山田委員からも学校施設のアセスメント評価について、資料を提供していただいているので、これについて説明をお願いしたい。

委員 　＝山田委員より提供資料について説明＝

委員長 　ありがとうございました。今までの説明について、ご意見のほうをお願いしたい。

委員 　各施設の特性の話があつたが、南北に長いという町自体の特性も考えたい。雇用の施設であっても、教育施設であっても南北に1ヶ所ずつあつてもいい。あと、第一小の表現は「立地が町の中心部」より「町の中央に位置している」の方がいいのでは。それと島田市においても、学校が統廃合をされるので、そことの比較なども頭の隅に入れておいたほうがいい。

委員長 　自分からも意見があつて、ここで何をやりたいと言っても、実際に管理運営していく人が決まらない限りは出来ないこと。例えば、商工会でも移転の話が出ている。そういう人たちに実際に見てもらって、ここはこうやって使いたい、こういうふうに変更したいという意見を聞いて、その人たちができるならやってもらうのがベストかと思う。

委員 　まちづくりと連動させていく必要があるので、町の考えをもう少し具体化したものを提示してもらい、それを練ったらどうか。どういったことを重点的にやっていくのかも少し示していただきたいと思う。

委員長 　町としても、これ以上経費がかからないようにしたいということであれば、そういった活用方法の方向に進めていかなければいけないと思う。

委員 　先程商工会の話が出たが、社協も場所が手狭、老朽化、また事業所が2つあつて運営がしづらい話も聞くので、高齢者、障害者、例えば児童館をまとめて、コンパクトにするとか、課題を圧縮して、ひっくり返して逆に魅力にする、新しく付け足すよりも、今あるものをより良くする、そのような視点が欲しいと思う。これは学校に限らず、他の公共施設も同じこと。

委員 　施設の利活用を検討する場合、サウンディングという民間の事業者に広く施設の情報を開示して、忌憚のない意見、評価、提案等について意見のやりとりをする仕組みがある。ぜひそういった機会をつくっていただいて、外部の方と地域の方も含めて、

それぞれの施設がどういう可能性を持っているのか、直接声を聞かれるのがいいと思った。

委員 年間約300人の雇用を60年ぐらい続けてくれているケーブルテクニカなどの波及効果を考えると、50年に1度くらいの大きな土地が空く機会ということで、今まで意見が出たように、一度そういう事業所に声をかけて具体的な話を吸い上げて、もしそういう事業所が工場建てたいと言ったら校舎を壊すとか、それかオフィスだけ借りたいとかグラウンドが必要とか事業者も違いがあると思う。企業に集まってもらい検討会を開くとか、今回4校も出るので、整理できるものから整理していかないとなかなか難しいと思う。4校一度に整理するのも難しいので、1校ずつでも減れば楽になるから、町はそういう考えで取り組んでほしいが、公募はどのようにやるのか。

事務局 校舎も含めてなのか、敷地だけなのかは手を挙げてくれる各企業のニーズにもよるが、公募は何かこの場を使って経済活動をやってくれませんか、やれるものないか、アイデアも含めて募集をしたい。その中で例えば、南部小は立地などから商業系の利用がされやすいと想定し、交流人口等の観点から適正を考えて、経済活動をベースとした公募の方向性、段取りをとっていきたいという素案を提示した。

委員 どの学校を気に入るかは相手次第なので、公募の時点であまり何系とか限定をしない方がいいのでは。

委員 サウンディングは、公募よりもっと前段階で探るということだから、まずはサウンディングを行い、そのニーズを探るのがまず第1段階。そこで集まった情報をこの委員会で検討するのが大事だと思う。

委員 地元企業の話が出たが、活用できるという意見も大事だし、これは活用出来ないという意見もあるかもしれないからちゃんと意見を聞くことが重要だと思う。

事務局 事務局側としても、いろいろな方が施設を見て、どういう考えを持たれるのか、そうした意見を聞くことは非常に重要で、有効なことだと考えているので、公募が先決ではない。先程は公募に対しての質問だったので、公募についてのお答えをした。

委員 北小については、補強でもなく、解体でもなく宙ぶらりんな状態が続いているが、過去に学校に木を植樹したり、ピアノを寄贈したり、やはり住民の思いが詰まっている。負の遺産と考えるか、プラスの遺産と考えるかで違うと思うので、ぜひいい方向性を出していただければと思う。

委員長 今までいろんな意見を伺ったが、まずはサウンディングを早めにやらせてもらって、やらずに第3回の委員会を開催してもまた同じなので、そこで出た結果を次回検討すれ

ば解決が早いと思う。

委員 サウンディングのシステムや流れをもう少し教えてほしい。

委員 国や県が開く説明会に町が出て、参加した民間事業者の中で興味を持ったところと個別に話をしていく場合もあるし、あるいは調査事業として町から委託された事業者が、地域の可能性などを調べて、他の民間事業者に対して、個別にヒアリング等をして調査報告書にまとめる場合もある。やっぱり外部から見たときに、この施設は地域も含めて、どう見えてどう評価されるかをまず把握しておくために取り入れるパターンが多い。ただ、必ずしも必要というわけではなくて、一足飛に公募しても割ととんとん拍子で決まっていくパターンもあるので、ケースバイケースかと思う。

委員 そういう手法があるのを初めて聞いて、今後の方向性を決めていく1つの手段として、外部の企業目線の情報を持っていても悪くないと思った。

事務局 例えばやり方として、町が施設の情報をある程度公表して、事業所と折衝する場を設けたりして進めるやり方もあるか。

委員 自治体独自でやるところもあるし、まずは国県主催の大きめの説明会で、まず試しにやってみる自治体もあり、それぞれの判断でやっている。国の廃校プロジェクトとか何かしらに掲載するとかしておけば、誰かの目に触れるかもしれないし、それによって問合せとか、そういった動きもうまれるかもしれない。

委員長 県の盛土条例が出来てから、町内の土木業者でも土捨場が問題となっていて、本川根中学校のグラウンドが低いからそこを指定できれば、高くなって水害も起きにくくなるかなと思っている。もし町で、学校施設の一部でもこういうふうに使おうと決まることがあれば、それはもうちゃんと明確にしていきたい。それと数年前に南部小学校が廃校になったらグラウンドに工場を建てたいという会社があったり、町に興味を持っている企業もいるので、情報を町の方から発信してもらえたらいい。商工会も発信を待ってるくらい。

委員 今、中学校のグラウンドの話が出たが、学校を建てる際に畑を寄贈したり、安く提供した地元の人もある。そうすると、やっぱり地元の人達の意見、ずっと見守ってきた人達の意見をないがしろにすることはあってはいけない。資料のスケジュールにも出ているが、区長会なんかで、その意見を集約することがやっぱり大事。そういう意見の中でちゃんと取捨選択していかないと。あと、お金がかかる話になるが、コンサルを入れるという選択もあるんじゃないかと思う。

委員 企業を外から誘致する流れの話が多かったが、資料には「子供の遊ぶ場所」と「気軽

に集まる場所・町民の交流の場」という意見も半分ある。今の公共施設は活用がその職員さんに委ねられてしまっていて、もうちょっと町全体として、施設ごとのカラーを出したらどうか。学校も地域の人が集まる場所として、公共施設の1つとして色を出した方がいい。その為には、役場内の課でも横にまたいだ連携が必要だと思うが、この4校のうちの1つでも、そういう方向性で使われたらいい。

委員長 確かに今まで外部からの事業系の話ばかりだったが、地域での利活用も大事なので、そちらも考えていかなければと思う。

委員 金融機関としては、企業誘致して産業発展させていくのか、それならば積極的に宣伝させてもらうが、それとも公共性のある町民の場所として活用していくのか、その辺をもう少し明確にさせていただけると動きようがあるので、よろしくお願ひしたい。

事務局 それぞれの施設について、その特性をしっかりと色分けした上で、外部の方や町内の団体から話を聞いて進めていければと思う。

委員長 全国的に廃校の活用事例では、1施設において活用内容を1つに絞っているか。

委員 教室が区分けされているので、別に1目的だけにしなくても、このフロアは住民の交流用スペース、2階は企業スペース、そういう複合的な使い方でもいいと思う。ただ、そこが建築基準法とかの絡みで制約がないかどうかは確認が必要とは思ふ。先程も意見が出たが、公共施設を集約、コンパクトにしていくよう複合的な機能を持たせる視点はあってもいい。あと、住民に広くアンケートをとって思いを吸い上げ、地域としての考えをある程度まとめた上で、それを地域の方々と共有して、こういう形で次の公募に進もうかというプロセスをとった自治体もある。今住んでる方々、それからこれから住み続ける子供や若い世代も含めて、大変にはなるが、住民の方々の合意形成と実際にそこの施設を使う人をどう繋ぐか、そこの軸はやっぱり大事だと思う。

委員 財源が気になる。10年後20年後先を見据えると大きいこと。それは町がしっかり出して、そうすると方向性としてちょっと見えてくると思う。公共性も大事だけでも、財政的な試算も先に出してもらった方が意見はまとまると思う。

事務局 財源は重要なことと事務局も認識している。例えば改修や整備をしていくことになれば、起債を財源として考えている。解体の話も出ていて、これにも多額の費用がかかるのは承知しているが、調整して、これも起債で対応していこうかと考えている。非常にアバウトな状況ではあるが、将来的な維持管理費もまた資料を提示していきたい。

委員 この活用の検討は町の行方を左右するものではないかと思っている。若い世代、子

育て世代にとどまってもらい、町外から若い人たちに入ってきてもらい、そこをみんなで見守り、おぼろげな知恵を絞って、ぶれないでやっていく必要があるかなど。相当な覚悟をみんな持つ必要があると思う。

委員 今日発言があったが、点在する施設をコンパクトにして、スリムな運営をするという意見が印象的で、大事だと思った。あと、やはり学校というのは単なる箱物じゃなくて、長いところは100年以上もあって、その地域の思いが詰まった非常に熱い建物。1番大事な町民の思いがある。そこはひとつ涙を飲んでという場合もあるかもしれないが。南部小学校の校庭は、ある1人の方がほぼ寄附されたというようなこともあるので無下には出来ない。

委員 正式な利活用が決まるまでの間に、単発でイベント的にこの校舎を使ってみることは可能か。

事務局 それは可能。
サウンディングについて、委員の皆さんに意見を伺いたいが、4施設全てについて企業的なサウンディングをするべきとの考えか、それとも一部でも施設の集約や公共的に活用が考えられる施設は、まずその公的な部分の検討を進めていくか、次のステップへ進むに当たり、どう動いていくかについて意見をいただきたい。

委員 このスケジュールに区長会とあるが、ただ投げかけしても答えは戻ってこない。地区に方向性が分かる内容のアンケートを回覧するなど仕掛けをして、これを地域の1つの声として上げるのもありではないか。

事務局 町政懇談会の中で、この委員会の進捗状況は区長会で報告すると告知していたので、まずは今度7月の区長会で、今現在の進捗状況を説明したい。

委員 公共性のあるもの、例えば社会福祉協議会や商工会などの団体、この地域に根づいて地域の雇用等に非常に貢献してくれている企業、川根高校、ここにゆかりのある大学など活用の意向を聞いてみたらどうか。時間があれば先ほど言ったような町民のアンケートをやったらどうかと思う。これをないがしろにして次に進めない。スケジュールが少しずつ遅れても丁寧にやっていくべき。

委員 サウンディングで企業のリサーチを行っていくと思うが、まずは企業のニーズを知るのが目的で、知ったニーズをこの委員会でワンクッションおいて検討するということがいいか。そのままマッチングにつながってしまうと、この検討委員会の意味がなくなってしまうので。

事務局 そのように考えている。

委員長 その情報はここで皆さん全員が共有できるようにお願いしたい。

事務局 第3回目の委員会に向かうに当たり、出された意見をもとに、今後の進め方について、委員長と事務局で協議をさせていただいた上で、委員の皆さんにお示ししたい。サウンディングというやはり企業のイメージが大分強くなるが、町内の団体の方の御意見やニーズ、地域住民の声もつかんでいくよう進めていき、この場で検討していきたい。

委員長 まずは町民が利活用できる形で、それでうまく運営していければベストだと思うが、それがなかなか出来ない場合に、外部の方を巻き込んで活用していかなければいけないと思うので、その辺りの進め方を事務局と相談しながら、また皆さんのほうへ御報告したい。

委員 もし、この場所をすぐ譲ってくれるならぜひ工場を建てたいという企業があったらどういう扱いになるか。企業誘致はスピード感が絶対に必要で、それを1回町民に聞いてみるとかやっているかと離れてしまうと思うが。

委員長 地元地区に対しては区役員会等にまず企業から説明して、地域が納得した上で進めていかなければいけないと思うので、そこがまず第一歩。

委員 この委員会における扱いをどうするか

委員 地域住民の意見もあるし、そのための利活用委員会であって、企業誘致ありきで進むのはおかしい。

事務局 企業から突然手が上がった場合においても、基本的には公募により提案を受け付ける手続きをとるので、時期をちゃんと定めてやっていきたい。あくまでも1企業だけとかではなく、オープンにして意見を求める体制をとりたい。

委員 こういう問題については、今日参加されている金融機関のお二方が1番詳しいと思うので、事務局も相談にのってもらった方がいい。

委員長 いろんな意見を出していただきありがとうございました。また次の第3回委員会までに事務局とどのように進めていくか、方向性のある程度決めて皆さんへお知らせしたい。今日はこれで閉会とする。どうもありがとうございました。

閉 会